

子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の3ワクチン接種助成の即刻実施を

菅野 恭子

【質問】この度の臨時

国会で標記3ワクチンの国助成が決議された。内容は、国が定める各ワクチンの基準価格の2分の1を国が負担、残り2分の1を自治体が負担した場合、この額を上限に自治体に交付税措置されるもの。

私はこれらの接種助成を数度（子宮頸がんは四度の一般質問）訴えてきたが、国支援がここまで、明確になった今、本市も即刻助成を実施すべきであり、且つ、実施額が基準価格を超える場合も本人負担なしで行うべきと考えるが見解を伺う。

【その他の質問】

○諸視点から小中学校で「児童が作る弁当の日」を設けてはどうか
○使用済みインクカートリッジのリサイクル推進について

【答弁】【市長】子宮頸

がんワクチン接種については、都道府県に子宮頸がん等のワクチン接種緊急促進臨時交付金が創設され、平成22年度、23年度を事業期間として実施されるものとなっている。

この事業開始時期、補助単価などの具体的なことについては、ようやくおととい（12月14日）県から説明を受けたところである。

今後については、この説明会の内容を白石

市医師会と調整を行ない、接種費用や実施医療機関の選定等をし、年度内には実施できるように準備を進めていきたいと考えている。なお、各ワクチンの対象者については、国の基準に準じ、また、接種費用は所得制限を設けず、全額助成を考えている。



先進地に学ぶ 行政視察報告から

◎議会広報

特別委員会

平成22年8月24日（火）議会広報の編集について行政視察を行い、本市の「議会だより」の編集に活かし、さらに充実した議会だよりの発行に取り組むことを目的に研修した。

【川崎町】

①編集体制
・編集委員 6名

（任期2年）

②特色

・表紙の写真に「親子三代」シリーズを取り上げ、読者の関心を引いている。
・裏表紙に「町民の声」の欄を設け、町民の声を町政に反映させる取り組みをしている。

・「追跡」の欄では、一般質問などの議員提案のその後をリポートし、結果を知らせる努力を

している。

・町民が一番知りたいこと、知って欲しいことを見開きのページに大きく取り上げ、見やすくしている。

【蔵王町】

①編集体制

・総務経済、教育民生の2常任委員会から、3名ずつ編集委員を選任（計6名・任期2年）

②特色

・議員質疑などのページには、「議員はこう切り込んだ」など斬新な見出しを付け、インパクトのある紙面づくりをしている。

・「あなたの声・私の声」を掲載し、町政への関心を高める工夫をしている。（2名ずつ5地区の輪番制で掲載）
・一般質問は、質問議員1人1ページを使用し、全項目を要約して掲載している。

【総括】

両町とも、紙面の構成に工夫がなされ、ゆとりと見やすさ、読みやすさを感じられた。本市の議会だよりについても活字の大きさや書体、見出しの付け方、レイアウト（割付）の工夫、色づかい、写真やカットの扱い方、企画もの、シリーズものの検討、市民の声を反映する紙面づくり等が課題と思われる。それらを踏まえて、今後とも多くの皆さんに親しんでもらえる紙面づくりに努めていきたい。



行政視察の様子